



ライオンリーダー各位

本ニュースレターでは、遠い過去に設定されたように思われるキャンペーン100の目標に対する進捗状況など、キャンペーンに関連したメッセージをお伝えしてきました。しかし、今号は違います。世界が変わってしまいました。人類が途方もない困難に直面している現在、今号では資金調達総額もモデルクラブも、フォーラムや会議、キャンペーン表彰のお知らせもありません。ライオンズも計り知れない不安とかつてない困難に直面しています。今号では、この世界的な健康危機を共に乗り越えるためのアドバイスと希望の言葉をお届けします。

ライオンズとして、私たちは子供たちの視力が回復し、家族が健康に暮らし、街が復興する喜びを経験してきました。私たちは奉仕を通じてこれらの成果を生み出してきました。多くのライオンにとって、こうした奉仕活動が不可能である現在は、創意工夫をこらし柔軟に対応する必要があります。発想を転換して今できることを考えましょう。ただ座して待つのではなく、今日できることはたくさんあるはずですよ。

専門家の指針を尊重する

何よりもまず、世界保健機関や、各国政府・地方自治体が設けている指針に従ってください。公衆衛生が最優先事項です。安全上の指針を守ることが、私たち自身の健康だけでなく家族や隣人の健康も守ることにつながります。これは奉仕にとっても非常に重要です。

接触を減らす機会を活かす

私たちの大半が人との接触を減らしています。この感染症予防策をうまく活用して、以下を実行してみましょう。

- **地区やクラブに連絡する。** 地域のライオンズに連絡し、彼らとそこご家族の様子を尋ねましょう。クラブ会員間での安全なコミュニケーション方法を勧めてください。また、この機会に、地域での奉仕活動のために時間をとられ棚上げされてきた作業を行うことを提案するのもよいでしょう。たとえば、準備すべき最終報告書はないか、まだ完了していない管理作業はないか、事業ファイルの整理はされているか、**共有**すべき成功事例はないかといったことを尋ね、あればそうした作業を行うよう提案してください。
- **将来の奉仕を計画する。** 視力、青少年、災害援助、人道支援、糖尿病、小児がん、食料支援、環境といった LCIF の奉仕分野のうち、地域のライオンズにとって最も重要なのはどれでしょう？ 地元のリーダーやライオンズに電話やメールで意見を聞きましょう。電話、メール、オンライン調査を活用して継続的なつながりを確保してください。
- **LCIF 交付金プログラムについて詳しく知る。** 財団の数多くの交付金プログラムを把握したり、新しい情報を得る時間を取りましょう。LCIF の [web サイト](#)、および「10 のヒント : LCIF 交付金申請と 10 のヒント : LCIF 交付金パンフレットの管理」から重要な情報が得られます。

- **LCIF 支援者に連絡する。**通常、私たちは地域社会での奉仕活動で多忙を極めています。しかし、現在、奉仕活動は安全ではない可能性があるため、この機会に私たちの財団を支援して下さった個人やクラブに、LCIF に代わって感謝の気持ちを伝えてはどうでしょうか。支援者の方々の支援意欲が高まるはずです。
- **LCIF 開発課スタッフに連絡する。**日常生活において、健康と安全が最も気がかりなことになった今、この機会を利用して LCIF 開発課スタッフに連絡し、スタッフとの関係を築いたり強化しましょう。今日の世界が将来の取り組みにどのように影響するかを話し合ってください。将来の成功のために、今、戦略を練ってください。
- **ソーシャルメディアでつながる。**人と物理的には距離を取っても、気持ちのつながりは大切です。コミュニティ、特にライオンズのコミュニティとつながることは、精神的にも良いことです。クラブや地区の会員に、[Facebook](#) で LCIF と交流すること、[YouTube](#) でライオンズの励みになる動画を見ること、[ブログ](#) でライオンズの成果を読むことを勧めてください。

世界がこの困難を克服したとき、ライオンズは再び地域社会で歓迎され癒しをもたらす存在となるでしょう。本日は、安全につながりながら奉仕をしてくださっていること、他の方々にも同様にしよう推奨してくださっていること、十分な注意と忍耐を持って活動してくださっていることに、改めて御礼申し上げます。健康と優しさを保ち続けてください。明日はより明るくなるはずです。

どうぞよろしく願いいたします。

山田實紘
元国際会長
キャンペーン委員長

J. フランク・ムーア
元国際会長
キャンペーン副委員長